

一般質問、 決算特別委員会のご報告

立川市議会議員

原 ゆき



こんにちは、原ゆきです。6月の立川市議会議員選挙ではたくさんの方々から多大なるご支援をいただき、初当選させていただくことができました！地域のためにしっかり働いていこうと身の引き締まる思いです。

原ゆきは立川市議会に新たに誕生した会派「立憲ネット緑たちかわ」の所属となりました。皆様にご覧いただいている声をかたちにしていくための活動に全力で取り組んでまいります。

初めての一般質問を行いました！

都立高校入試が危ない

一民間の英語スピーキングテスト導入の問題点を指摘

東京都教育委員会（以下都教委）は都立高校入試に民間業者による英語スピーキングテストを導入する方針です。

このテストは、さまざまな疑念点があるにも関わらず、**都教委は公開質問にも回答しないまま実施に突入しようとしています。**このままでは多くの受験生に影響が出てしまうという危機感から、質問しました。

解説コーナー 都立高校入試に導入される、英語スピーキングテストって、どんなテスト？

この英語スピーキングテストは、イヤホンをつけタブレットから出る音声に従って回答する（機械に解答を吹き込む）というもの。試験ではタブレットが貸与され、都内の中学校3年生約8万人が試験日一日の前半組と後半組に分かれて受験します。つまり、1台のタブレットを2人の生徒が使うことになります。

ここが問題！ 1 都立高校、受験できなかった生徒に他人の平均点付与？

都教委は、やむを得ない理由（病気・事故など）で当日受験できなかった生徒には、「仮のESAT-J結果」の点数が与えられることになっていますが、これは、2月の英語学力検査（筆記テスト）が同じ点数だった生徒のESAT-J成績を平均して算出するといいます。不受験者に与えられる仮のESAT-J結果によっては、スピーキングテスト受験者より不受験者の方が総合得点が高くなってしまふ**「逆転現象」**の可能性を否定できません。都教委教育部長は「筆記テストとスピーキングテストの点数の相関関係のデータはない」と言っているにも関わらず、この算出方法には無理がないでしょうか。

ここが問題！ 2 個人情報の取り扱いへの不安

申し込み時には顔写真をはじめとする個人情報を登録しなければなりません。運営主体であるベネッセは過去に個人情報流出事件が報告されています。入試のため半ば強制的に一私企業に個人情報を登録することは大きな疑問です。

ここが問題！ 3 採点場所はフィリピンで！？

採点者の詳細が明かされていないこと（フィリピンで、事業者が選んだ「専任スタッフ」が携わるということしか明かされていない）から不透明な採点体制への疑問がぬぐえませんが、

ここが問題！ 4 得点1点でも34点でも同じ配点「4点」？

本テストは、0～100点で採点した後にA～Fの6段階で評価し、それぞれの段階ごとに配点されます。

6段階それぞれの得点幅は15点、21点、34点と均等割りではありません。このような採点方法が入試という公平性を求められる場において適正だと言えるでしょうか。

グレード	得点(点)	配点(点)
A	80～100 (得点幅21点)	20
B	65～79 (得点幅15点)	16
C	50～64 (得点幅15点)	12
D	35～49 (得点幅15点)	8
E	1～34 (得点幅21点)	4
F	0 (得点幅0点)	0

ここが問題！ 5 スコア返却は1月中旬

12月中の志望校決定に影響がある。点数によっては志望校変更も考えられますが、それに対応する受験生や家族・教職員の負担が増えます。

立川市からの回答

「都立高入試における英語スピーキングテストについては、東京都が行う事業であるため、市が意見する立場にない」という主旨がほとんど…内容に解答していただけなかった質問が多く残念でした。開示請求への対応については、学校や教育委員会に今後どのような結果の詳細が送られてくるかが示されてから検討するとのことでした。



都教委から度重なる変更の通知があることから、**教員や受験生・保護者の方々への丁寧な説明をすること、特別措置の申請をした生徒に対して、必要な支援を学校現場へ行うことなどを要望しました。**

いくら東京都の事業といっても、受験するのは中学3年生。立川市にも受験生とその保護者がたくさんいます。何より、受験を控える生徒たちの納得できる進路決定のために、今後この問題については、現段階での問題点の解明を要望し、それらが解決されるまでは入試活用への延期及び見直しを訴え続けます。

質問の様子はこちらからご覧になれます



（裏面に続きます！）

立川市の産前産後ケアの現状について

立川市では令和2年度から産後ケア事業が始まりました。今回は、立川市の産前産後ケアの現状と、助産師居宅訪問(アウトリーチ)型導入の必要性について質問しました。

Q.厚労省の産前・産後サポートガイドラインの中には訪問事業について明記されており、近隣自治体でも取り組みが始まっている。立川市で現在実施されている短期入所事業・通所事業に加えて、助産師居宅訪問型の産後ケア事業の導入が必要と考えるが、市の見解は。

立川市からの回答

訪問型の導入については、他市の状況など、調査研究を行っていき対応を検討する。



産後ケア事業の利用率はまだ少ないです。ケアを必要とする全ての産婦さんにとって本事業が手の届くサービスとなり、お母さんや赤ちゃん、その家族の健康的な産後生活を支えるものとなるよう願っています。今後も申請時の手続き簡略化など提案していきます。

立川七中の建て替えに伴う今後の影響について

6月30日に火災が発生し、焼損したことによる立川七中の体育館建て替えに伴う今後の影響等について質問しました。

Q.8月8日、臨時議会において七中体育館の復旧等について決議した後、七中ホームページにその内容が記載されたとのこと。この際、保護者や在校生に向けては一斉メール配信などで周知をされなかったのはなぜか。

立川市からの回答

保護者には、1学期の終了時の学校だよりにおいて、復旧方針等が決定した段階で学校ホームページに掲載する旨を周知したため、メールによるさらなる周知は行わなかった。

Q.プリントの配布だけでなく、リアルな説明会を求める声が届いている。今後、保護者や地域への説明会を行う予定はあるか。

立川市からの回答

現体育館の解体工事に着手する段階や、新体育館の基本設計がまとまった段階で、保護者や近隣住民の方を対象に説明会等を実施していく。



学校一斉配信メールについては、「生徒や教職員の新型コロナウイルス感染症の判明時及び学級閉鎖の実施や、不審者の発生等といった即時での連絡が必要な場合において使用している」とのことでした。今回、「学校ホームページへの掲載だけでは気付かなかったので、メールでも情報を届けてほしかった」と保護者の方からの声があったため、今後状況に応じて柔軟に対応いただけるよう要望いたしました。

決算特別委員会

令和3年度の各事業評価・予算執行の内容について、議論されました。今回行った質問で、さっそく立川市ホームページの記載内容を改善していただいた事例もあります。引き続き、皆様の声を市政へ届けてまいります!ご意見お寄せください。

▶ファーストバースデー・多胎児家庭支援事業

子育てママ・原ゆきの
ここが知りたい!

Q.多胎児家庭がもらえるタクシーチケットにも使える商品券はいくら分、最大何回贈呈されるのか?ホームページに詳細の記載がない。

A.面接に応じた多胎児家庭において、2万4千円分の商品券を、0歳、1歳、2歳の最大3回贈呈される。(3歳未満、年1回)

立川市ホームページに詳細を記載していただき、見やすく改善されました!また、タクシー移動利用時の移動先の対象拡充を要望しました。

▶ファミリー・サポート・センター事業

援助会員の担い手を増やすべく、登録機会の拡充を要望しました。

▶子育てひろば事業

コロナの状況に応じて、現在行われている制限の解除を検討していくこと、子育てひろばの情報を一括に集めたポータルサイトを作っていただくことを要望しました。

元教員・原ゆきの
もっとこうして!

▶教育相談

相談件数は増加している(平成29年度860件→令和3年度1009件)のに、相談員の数が変わらない。(9人体制)相談員配置を増やすよう要望しました。

▶働き方改革事業

教職員の残業時間が増え続けています。部活動指導員、学校支援員等の体制強化や、過労死ラインを超えて勤務している教職員の把握とその適切な対応を要望しました。

▶教育研究事務

教職員の負担軽減について、研究発表の紙上発表など簡素化をさらに検討し、本来の研究時間の確保や教員が子どもと向き合える時間を増やしていくことについて要望しました。

発行責任者 原ゆき事務所

〒190-0001 立川市若葉町1-3-1-408

tel:070-9008-7455 Fax:050-3488-7544 mail:harayuki0802@gmail.com

プロフィール

1987年生まれ35歳。元小学校教員。長妻昭衆議院議員元秘書。若葉小/立川九中/錦城高校/都留文科大学卒。夫、娘(2歳)と共に若葉町在住。

＼ホームページ「お問い合わせ」フォームから皆さまのご意見お寄せください!／

＼SNSで日々の活動を発信しています!／

<https://harayuki.com/>

